|  |
| --- |
| 令和3年2月17日　事業報告書(報告者)　住所　鳥取県米子市上後藤4丁目2番36号 団体名　鳥取県西部地区オレンジリボンたすきリレー実行委員会事務局(児童家庭支援センター米子みその) 代表者氏名　大谷　志帆  電話番号　(0859) 21-5085　　 |
| 事業等の名称 | 2020年度　鳥取県西部地区オレンジリボンたすきリレー団結式 |
| 期日又は期間 | 令和2年 7月～11月　鳥取県西部地区児童虐待防止啓発ポスター作製・配布、原画展示令和2年11月14日（土）オレンジリボンたすきリレー団結式 |
| 事業等の実施場所 | 鳥取県西部地区児童虐待防止啓発ポスター配布、原画展示　鳥取県西部地区の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、その他関係機関、企業等へ配布。地域のショッピングセンターにて原画展示会を開催。オレンジリボンたすきリレー団結式　米子市福祉保健総合センターふれあいの里　駐車場 |
| 事業等の概要 | 鳥取県西部地区児童虐待防止啓発ポスター配布、原画展示鳥取県西部地区の高校生から原画デザインを募集し、鳥取県西部地区独自の啓発ポスターを作製した。上記へポスターを配布、11月の児童虐待防止推進月間の掲示を依頼した。また、地域のショッピングセンターにてパープルリボンとのコラボレーションや、原画の展示会等の啓発活動を行った。1ヵ所ではパープルリボンとコラボレーションをした。オレンジリボンたすきリレー団結式例年、オレンジリボンに込められた「子ども虐待のない社会の実現」への思いを胸に鳥取県西部地区の市町村、子どもに関する機関・団体などでたすきリレーを開催している。しかし昨今の状況を鑑み、今年度はたすきリレーを中止とし、団結式のみ開催した。会場を野外にし、参加人数も制限をかけ、感染症対策に配慮して実施した。式は児童虐待防止宣言やオレンジリボン憲章の唱和、ポスター原画の作者表彰等を行った。また、今年度は鳥取県西部解体業協議会より、オレンジリボンマークがプリントされたオレンジ色のテントをご寄贈いただき、贈呈式も行った。ポスター原画や寄贈いただいたテントは会場にて展示した。翌日の11月15日には、毎年たすきリレーにご協力いただいている鳥取県トライアスロン協会のイベント(2人ペアで自転車をこいだり走ったりしながら約30㎞を走破する)ともコラボレーションさせていただいた。開会式では鳥取県西部地区オレンジリボンたすきリレー実行委員長がオレンジリボン運動について紹介し、参加者がオレンジ色のたすきとリボンをつけて走り、オレンジリボン運動を応援してくださった。 |
| 参加者数 | 　団結式参加人数　約70人 |
| 他の共催・後援者 | 主催：鳥取県西部地区オレンジリボンたすきリレー実行委員会事務局：鳥取県米子児童相談所、児童家庭支援センター米子みその後援：鳥取県、米子市、境港市、日吉津村、大山町、伯耆町、南部町、江府町、日野町、日南町、鳥取県立喜多原学園、鳥取県立総合療育センター、鳥取県立大山青年の家、鳥取県西部総合事務所福祉保健局、米子警察署、鳥取大学医学部附属病院、山陰労災病院、米子聖園天使園、米子聖園ベビーホーム、米子聖園コスモス、光徳子供学園、ピアホーム、子どもの虐待ネットワーク鳥取、子どもの人権広場、鳥取県西部広域行政管理組合消防局、養和病院、鳥取県トライアスロン協会助　成：(公財)資生堂社会福祉事業財団 |
| 成果等 | ショッピングモールでの展示会や、高校生へのポスター原画デザイン依頼等により、オレンジリボン運動を地域の幅広い年代に広めることができた。また、関係機関との協同により、つながりがより一層深まった。地域の企業、学校とも活動を通し、地域の子育てを共に支えていく気持ちを共有できた。 |

